

2023年7月27日  
株式会社 電通グループ  
代表執行役社長 CEO 五十嵐 博  
(東証プライム市場 証券コード：4324)

## 電通グループ、マイクロソフト社との提携拡大により、 顧客体験マネジメント事業を強化

— AI を活用した新たな2つのソリューションを開発 —

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表執行役社長 CEO 五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、Microsoft Corporation（本社：米国 ワシントン州、会長 兼 CEO：サティア・ナデラ、以下「マイクロソフト社」）との提携を拡大し、マイクロソフト社が提供する Azure OpenAI<sup>※</sup>テクノロジーへのアクセスが可能になりました。これにより、顧客体験マネジメント領域における顧客企業の事業成長および効率性を推進する AI を活用した2つのソリューションとして、「Merkle GenCX」と「AI Playground LATAM」を開発しました。

「Merkle GenCX」は、生成 AI の力を活用し、よりインパクトのある顧客体験を提供する独自のソリューションです。「AI Playground LATAM」は、新たなテクノロジーと統合された視聴者データを組み合わせることで、顧客企業の日常業務に効率性と機敏性を与え、地域の特徴に合わせたソリューションを実現します。

Azure OpenAI は、ビジネス全般および開発部門における業務の負担を軽減し、コンセプトのプロトタイプ化や、顧客企業の価値を高めるソリューションとして製品化する能力を高めます。また、当社の先進的なアプローチでは、AI インフラを既存および新規のソリューションやデータセットに統合することで、セキュリティ侵害リスクの軽減と、顧客企業の成長に不可欠な機敏性の推進を可能にします。

当社は、AI ツールの急速な普及を踏まえ、当社従業員が AI プラットフォームにアクセスし、継続的な AI 活用を可能にする取り組みを進めています。これらのテクノロジー活用により、当社は AI Connective と呼ばれる多様で活発なコミュニティを通じてノウハウを共有し、地域/エージェンシーブランド/ケイパビリティを横断する利用により、差別化されたイノベーションを迅速に市場に投入することを可能にしています。

※：顧客企業が新たなソリューション開発を実現できるよう設計された200を超える製品とクラウドサービスで構成されたプラットフォーム。詳細は下記よりご覧ください。

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/cognitive-services/openai-service#overview>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 佐藤、杉浦

Email：[group-cc@dentsu-group.com](mailto:group-cc@dentsu-group.com)